

**製品名: AMPK $\gamma$ 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06854**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKAG1
別名	PRKAG1; 5'-AMP-activated protein kinase subunit gamma-1; AMPK gamma1; AMPK subunit gamma-1; AMPKg
遺伝子 ID	5571.0
SwissProt ID	P54619
免疫原	抗血清はヒト PRKAG1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

**背景**

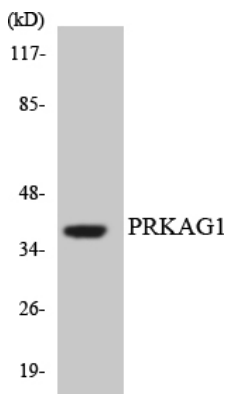
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の調節サブユニットです。AMPK は、 $\alpha$

触媒サブユニットと非触媒  $\beta$  および  $\gamma$  サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPKは、細胞のエネルギー状態を監視する重要なエネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスに应答して AMPKは活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 生合成の調節に関与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と  $\beta$ -ヒドロキシ  $\beta$ -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化して不活性化します。このサブユニットは AMPK の  $\gamma$  調節サブユニットの1つです。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: AMPKは、アセチル CoA カルボキシラーゼのリン酸化による脂肪酸合成の調節を担っています。また、ヒドロキシメチルグルタリル CoA 還元酵素およびホルモン感受性リパーゼのリン酸化および不活性化を介してコレステロール合成を制御する。これは調節サブユニットである。、類似性: 5'-AMP 活性化プロテインキナーゼ  $\gamma$  サブユニットファミリーに属する。、類似性: 4つの CBS ドメインを含む。、サブユニット:  $\alpha$  触媒サブユニット、 $\beta$  非触媒調節サブユニット、 $\gamma$  非触媒調節サブユニットからなるヘテロ三量体。FNIP1 および FNIP2 と相互作用する。、

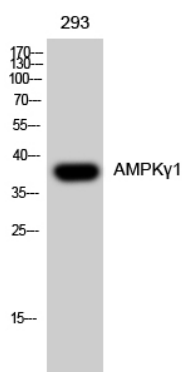
## 研究分野

インスリン受容体; AMPK

## 画像データ



PRKAG1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



AMPK $\gamma$ 1 ポリクローナル抗体を使用した 293 細胞のウエスタン ブロット解析。